

平成 21 年

第 8 回仙北市議会定例会

教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成21年第8回仙北市議会の開会にあたり、前回の定例会後の主な事項についてご報告申し上げます。

◇はじめに

新型インフルエンザが猛威をふるっておりますが、12月2日現在で、市内の幼稚園、小・中学校の園児・児童生徒の罹患者数の累計は、在籍者数2,171名のうち571名となっております。

感染拡大防止対策として、各学校では学校医の意見を聞きながら、10月15日以降、休校措置3、学年閉鎖12、学級閉鎖8の休業措置がとられております。

今後、インフルエンザワクチンの集団接種も実施されることとなり、まだ罹患していない対象者については、予防接種を受けるように指導しておりますが、手洗い、うがいの励行等、日常の健康管理について引き続き注意を呼びかけて参ります。

次に、10月8日に発生した台風18号により、教育委員会関係施設において、神代市民体育館の屋根の損壊、学校敷地内の倒木、旧石黒（恵）家の塀の倒壊など大きな被害がありました。

被害状況を調査のうえ、復旧工事に取り組んだところでありますが、予備費のほか専決処分による補正予算で対応させていただきましたので、よろしくご理解賜りたいと思っております。

10月3日から11月8日まで、平福記念美術館、樺細工伝承館、新潮社記念文学館の三館で開催された「小田野直武・佐竹義躬生誕260年 秋田蘭画とその周辺展」については、オープニングへの佐竹秋田県知事の出席、民間団体による2回の講演会の開催など、マスコミ等にも取り上げられ話題を呼んだところであります。会期中の入場者は、美術館3,276人、伝承館7,077人、文学館1,102人で、合わせて11,455人となっております。同一のテーマで三館で展示を行うという初めての試みでしたが、合同開催の成果と反省点を今後活かすために、来年度以降も三館の連携を図り、文化施策の振興に努めて参ります。

次に各課関係について申し上げます。

【教育総務課】

神代小学校改築事業については順調に工事が進捗し、11月27日に竣工検査が行われましたが、引渡しを受けた後、引越し作業を行い、12月25日に竣工式典を開催することにしております。また、12月19日、20日の両日、完成内覧会を予定しており、多くの市民の皆様にご覧いただきたいと思っております。22年度に、外構工事、仮設校舎と管理棟・体育館の解体工事を行い、すべての事業が完了することになっております。

次に、昭和24年に植栽された角館中学校、神代中学校、神代小学校の学校林が、当時の秋田営林局との契約により伐採期を迎えたことから、9月から11月にかけて、一般競争入札による公売を実施した旨の通知が秋田森林管理署からありました。

その結果、分収割合により、それぞれ落札された金額の8割に相当する額が納入され、学校林に関する条例に基づき、各学校の施設整備等に充当することとし、本定例会の補正予算に歳入並びに施設整備事業として所要の歳出予算を計上しております。今後、各学校と連携を図りながら必要な備品の購入等、有効に活用して参ります。

【学校教育課】

来年度の小学校入学予定児童は218名（本年度196名）となっており、3地区で就学時健診を実施したほか、11月17日、就学指導委員会を開催し、その答申に基づき、児童・生徒の適正な就学や、市内各学校の来年度の学級編制に取り組んで参ります。

昨年度から西明寺小学校で実施しております「秋田発・子ども双方向交流事業」について、本年度は、7月27日～29日、西明寺小学校5年生22名が東京都を訪れ、文京区の本郷小学校児童との交流を行ったほか、都内アンテナショップでの農産物販売体験や中央卸売市場見学を行いました。また、8月17日～19日、本郷小

学校5年生17名が本市を訪れ、地元の農家民宿に宿泊したほか、戸沢氏祭りに参加するなど、より農山村の生活や文化に密着した3日間となり、有意義な体験と交流が双方向で実施されたところでもあります。

【生涯学習課】

茨城県高萩市及び常陸太田市と交流を続けてきた青少年交流事業については、平成12年度から実行委員会を組織し、旧角館町で開始され、仙北市に引き継がれてきたものでありますが、相手方である両市から交流中止の申し出があったことや市内の小学生の交流参加者の減少等を考慮し、実行委員会で協議した結果、本年度をもって実行委員会を解散することとし、今後は、常陸太田市、秋田市との三市連携交流の中で青少年交流に取り組んでいくことにいたしました。これまで事業に尽力された皆様に心から感謝申し上げる次第であります。

次に、仙北市文化祭が、田沢湖地区、西木地区は10月31日～11月1日、角館地区は11月7日～8日、それぞれ開催されました。本年度の参加団体は3地区合わせて86団体、出品展示総数は2,078点になっており、いずれも前年度より増えております。

9月27日、第19回北緯40°秋田内陸リゾートカップ100キロチャレンジマラソンが角館交流センター前をスタートし、鷹巣の北秋田交流センター前までのコースで開催され、100キロの部に1,322名、50キロの部に298名が参加いたしました。

9月29日に着工した「農村モデル角館図書館解体工事」については、11月いっぱいまで工事が完了し、普通財産に所管替えの後、駐車場として活用していくことにしております。

【学習資料館・新潮社記念文学館】

新潮社記念文学館では、8月1日から9月24日まで、市民有志の主催により、男鹿和雄さんの本の出版を記念する「秋田、遊びの

風景」展を開催しましたが、会期中5,483人の入場者があり、懐かしさと温もりを表現した男鹿さんの少年時代の風景を楽しんでいただけたものと思います。

11月2日、新潮社記念文学館名誉館長の高井有一先生から、芥川賞受賞作となった「北の河」の原稿（60枚）をはじめ、芥川賞正賞の時計、写真パネルなど、貴重な資料品22点が寄贈されました。今後、常設展を設置するなど、高井先生の功績を伝えていくとともに、文学館の一層の充実に努めて参ります。

【市民会館】

9月22日～23日、第24回生保内節全国大会が開催され、一般の部200名、年少の部32名が参加し、一般の部では羽後町の和賀由里子さん、年少の部では福島県の沢田藍さん（中学3年生）がそれぞれ最優秀賞を受賞しました。

11月7日、恒例の自衛隊音楽コンサートが開催されました。今回は、三沢基地の航空自衛隊に所属する北部航空音楽隊40名がクラシックからジャズナンバーまで13曲を演奏し、満員の観客を魅了しました。

11月29日、「たざわこ音楽祭」が開催され、童謡やクラシックからロックまで、地元出身の音楽家も多数出演し、それぞれ個性ある4組のグループが多彩な演奏を披露しました。

【文化財課】

10月3日、4日の両日、樺細工伝承館を主会場に、全国伝統的建造物群保存地区協議会町並み技術研修会が開催され、全国各地から80名が参加しました。研修会では、「伝統的建造物の保存とその活用」をテーマに活発な討論が行われたほか、茅葺きの現場や旧石黒（恵）家での現地指導もあり、専門性の高い貴重な研修会として好評を得たところであります。

10月25日、湯沢市で第33回秋田県民俗芸能大会が開催され

ましたが、本年度の秋田県民俗芸能功労者として、本市の照井テルさん（角館町雫田・85歳）が表彰を受けました。照井さんは、長年にわたる「地方（じかた）」としての活動や「角館祭りのやま行事」の普及発展に対する尽力、地元の子どもたちへの民謡指導などに活躍された実績が評価されたものであります。

角館のシダレザクラの種子が、スペースシャトル・エンデバー号に乗って若田光一さんと共に宇宙を旅したことについてはマスコミ等で報道されたところですが、12月5日、東京都の科学技術館において「花伝説サミット」が開催されることになり、全国12地区の花の種を提供した関係団体と共に角館小学校の児童3名が参加し、仙北市の桜のPRや日頃の桜の保護活動などについて報告することになっております。

【平福記念美術館】

8月1日から9月27日まで、「ヨーロッパ絵画展」を開催しましたが、会期中2,298人の入場者がありました。

12月5日から明年1月27日まで、32回目を迎える「児童・生徒県南美術展」が開催されますが、今回は、県南の小・中学校103校から1,300点近い作品が出品される予定であり、ぜひ多くの皆様からご覧いただきたいと思っております。

以上、教育行政に関する報告を終わりますが、本議会に提案しております教育関係議案につきましても慎重ご審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げます。